

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	宇都宮市子ども発達センター若葉園		
○保護者評価実施期間	令和7年3月1日 ～ 令和8年2月28日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○従業者評価実施期間	令和7年3月1日 ～ 令和8年2月28日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○訪問先施設評価実施期間	令和7年3月1日 ～ 令和8年2月28日		
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・経験豊富な訪問支援員による支援	・訪問先施設職員に対して、若葉園（障がい児通所支援施設）で使用している絵カードやタイムタイマー等の視覚支援教材の提供をしている。	・複数の事業所を利用しているお子さんについて、事業所間の連携を図り、お子さんについての情報を共有することで、支援内容の充実を図っていく。
2	・多職種による専門的な支援	・保育士がメインで訪問しているが、お子さんの発達状況により、子ども発達センター内の専門員（OT・ST等）が訪問に同行している。	・お子さんの発達状況について支援員が評価した内容を専門職員（OT・ST等）と共有し支援の方向性等について助言を受け個別支援計画に反映させる。また、専門職員（OT・ST等）との同行訪問を積極的に実施し、訪問先施設の職員が専門職員（OT・ST等）と情報共有や相談ができる機会を増やす。
3	・保育所等訪問支援を実施している事業所同士の連携	・児童発達支援センターとして「保育所等訪問支援事業担当者情報交換会」を毎年開催し、事業の課題等について共有するほか、困難ケースに関する事例検討を行うなど、支援の質の向上を図っている。	・「保育所等訪問支援事業担当者情報交換会」の内容について、参加事業所から希望を募り、充実を図る。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・他事業所との連携	・一人の児童に関わる複数の事業所同士が、支援内容などについて共有する機会が殆どない。	・他事業所を利用しているお子さんについて、事業所間の連携を図り、お子さんについての情報を共有することで、支援内容の充実を図っていく。
2	・保護者向け学習プログラムなどについての情報提供	・家族が参加できる学習プログラムなどについて、十分な情報を提供できていない。	・若葉園での保護者向けの学習会について周知し、参加できるようにしていく。若葉園以外の家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会についても情報提供していく。
3			